



STOP THE 格差社会! 第3弾 全道キャンペーン通信

NO.33 2014.11.17 発行責任者 連合北海道組織労働局

労働者派遣法改悪阻止に向け札幌で緊急街宣行動

労働者派遣法改正案の強行採決を許さない緊急街頭行動として、11月12日(水) 8:00~8:40『札幌駅南口(佐藤水産前)』と、11月14日(金) 12:00~12:40『札幌パルコ』前にて、産別・地協・地区連合加盟の組合員のべ69人により両日で6000枚のチラシ(ティッシュ)を配布した。

11月12日(水)は、連合北海道 工藤和男会長が、政府が考えている労働者派遣法改正案では、人を変えればずっと派遣労働を企業が受け入れられることとなり、結果、低賃金のまま一生派遣労働者となりかねない危機を訴えました。14日(金)は、冬将軍の急襲で一転して雪模様となる中、連合北海道 出村事務局長や渡辺副事務局長から、派遣法改悪阻止を訴えました。

ヨーロッパなどでは、派遣労働者は一時的・臨時的な労働力とされており、正社員と均等待遇とされており、派遣労働者は安上がりな労働力ではないので、企業も長々と派遣労働者を使うことにはなりません。日本では、派遣労働者は雇用の調整弁として、また均等待遇がされていないので、安価な労働力として扱われることも多いのです。派遣労働者の6割は『正社員になりたい!』と考えています。

今回の派遣法改正がされると、正規社員の派遣労働者への代替が進む危険もはらんでいます。派遣労働者が3年でクビを切られずその後の雇用も安定すると安倍首相は言っていますが、それは、一生涯低賃金の派遣労働者で働ける・・・とも言えます。



連合北海道 工藤会長

2日間で69人の組合員が
6000枚のチラシを配布!
14日は凍える雪の中で・・・



40人の組合員が4000枚チラシ配布



連合北海道 出村事務局長



連合北海道 渡辺副事務局長



札幌地区連合 山本副事務局長

—STOP THE 格差社会! 全道キャンペーン第3弾—

「全国統一行動!! 12.5全道総決起集会」

2014年12月5日 18:15~ 北海道自治労会館 5階ホール